

# 聴覚障がい

障がい別に過去の配慮例を紹介します。

※授業においては、科目特性に応じて学生本人と教員が話し合い、ともに着地点を見つけましょう。

## 1. 概要

音を聴く、感じる経路に何らかの障害があり、話し言葉や周囲の音が聴こえなかったり、聴きづらくなったりする状態。障害の程度は様々で、補聴器等で音を増幅しても、必ずしも明瞭に聴こえるわけではない。

## 2. 講義（座学）における配慮例

- ・希望する座席での着席を認める。
- ・ピアサポーターがノートテイク、PCテイクを行う。
- ・聞き取り用のマイクや音声アプリの使用を許可する。
- ・授業の録音を許可する。
- ・その他、授業科目の目的等を変更することのない範囲で環境の調整を行う。

## 3. 実技授業における配慮例

学生本人がどの程度の動きが可能か、その都度確認しあう。